

レッツ原価管理

Go2

RICOH Cloud OCR for 請求書
連携マニュアル

LET'S

目次

1. 準備1 マスタデータの登録	
1-1. 仕入先、科目の出力	1
1-2. 工事の出力	2
1-3. カスタム項目に設定	3
2. 準備2 CSV形式の登録	4
3. CSVデータ作成	6
4. レッツ原価管理Go2での読込	8

- 本書では、レッツ原価管理Go2とRICOH Cloud OCR for 請求書の連携方法のみ解説しております。機能および基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go2操作マニュアル」でご確認ください。
- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。

1 準備1 マスタデータの登録

レッツ原価管理Go2に登録されている「仕入先」「科目」「工事」をRICOH Cloud OCR for 請求書に登録します。

本章に記載の操作はレッツ原価管理Go2とRICOH Cloud OCR for 請求書の連携を初めて行う時と、レッツ原価管理Go2のマスタデータを追加・変更した時に必要です。

1-1. 仕入先、科目の出力

レッツ原価管理Go2の台帳からデータを出力し、RICOH Cloud OCR for 請求書のマスタデータの形式に加工します。

「仕入先」で説明しますが、「科目」も同じ手順です。

- ① レッツ原価管理Go2の台帳メニューから「仕入先」(または「科目」)を開きます。
- ② [F11 印刷]から「TEXT書出」を選び、[実行]でファイルを出力します。
項目名を出力する=ONにします。
ファイル種類はCSV、ファイルの場所は任意の場所を指定してください。
- ③ 出力したファイルをExcelで開き、A列(コード)とE列(略称)を残して他を削除します。
(「科目」の場合はA列(コード)とB列(名称)を残します)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	コード	名称1	名称2	フリガナ	略称	郵便番号	住所1	住所2
2	AIZAWAK	相沢建材株式会社		アイザワケン	相沢建材株式会社	989-6154	宮城県大崎市古川大原	
3	GENKIN	現金仕入		ゲンキンシル	現金仕入			

この列を残して他を削除

- ④ A1の「コード」を「Value」、B1の「略称」を「Title」に変更します。

	A	B	C
1	コード	略称	
2	AIZAWAK	相沢建材株式会社	
3	GENKIN	現金仕入	

→

	A	B	C
1	Value	Title	
2	AIZAWAK	相沢建材株式会社	
3	GENKIN	現金仕入	

- ⑤ Excelの「名前を付けて保存」から、ファイル形式を「CSV UTF-8(コンマ区切り)(*.csv)」を選択し、保存します。



- ⑥ 作成したファイルをメモ帳等のテキストエディタで開き、以下のような形式になっていることを確認します。

読込用仕入先.csv - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

Value,Title
AIZAWAKE,相沢建材株式会社
GENKIN,現金仕入

1-2. 工事の出力

レッツ原価管理Go2の工事登録からデータを出し、RICOH Cloud OCR for 請求書のマスターデータの形式に加工します。


- ① 「工事登録」を開き、[F7 検索]から請求書データ作成で必要な工事(例:未成工事のみ 等)を絞り込みます。
- ② 検索結果で[F11 印刷]から「TEXT書出」を選び、[実行]でファイルを出力します。
項目名を出力する=ONにします。
ファイル形式はCSV形式、ファイルの場所は任意の場所を指定してください。
- ③ 出力したファイルをExcelで開き、A列(工事コード)とF列(工事略称)を残して他を削除します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	工事コード	工事コード	受注日	見積番号	工事名称	工事略称	工事場所
2	A90098	0	2020/4/1		阿部邸新築工事	阿部邸新築工事	宮城県仙台市一番町
3	B91101	0	2020/4/5		宮城県美里市遠	遠田町下水道設備	宮城県美里市大和町高岡内
4	C001	0	2020/4/2		一刻アパート	一刻アパート増築	宮城県仙台市若林区大北町

この列を残して他を削除

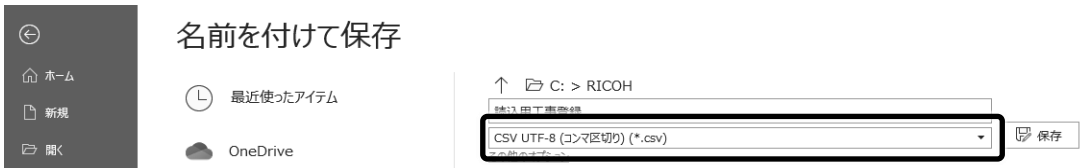
- ④ A1の「工事コード」を「Value」、B1の「工事略称」を「Title」に変更します。

	A	B	
1	工事コード	工事略称	
2	A90098	阿部邸新築工事	
3	B91101	遠田町下水道設備	



	A	B	
1	Value	Title	
2	A90098	阿部邸新築工事	
3	B91101	遠田町下水道設備	

- ⑤ Excelの「名前を付けて保存」から、ファイル形式を「CSV UTF-8(コンマ区切り)(*.csv)」を選択し、保存します。



- ⑥ 作成したファイルをメモ帳等のテキストエディタで開き、以下のような形式になっていることを確認します。

```
読込用工事登録.csv - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
Value,Title
A90098,阿部邸新築工事
B91101,遠田町下水道設備
C001,一刻アパート増築
```

1-3. カスタム項目に設定

作成したCSVデータをRICOH Cloud OCR for 請求書の「カスタム項目」に設定します。

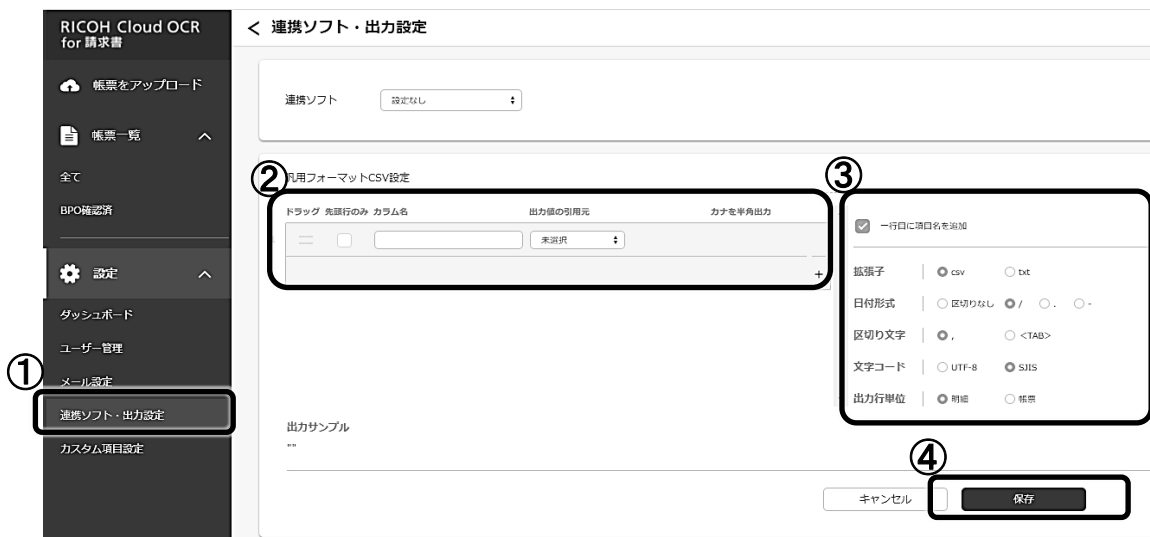
The screenshot shows the 'カスタム項目設定' (Custom Item Settings) page. On the left sidebar, 'カスタム項目設定' is highlighted with a circled 1. The main area is split into two sections: '請求書情報' (Request Information) and '明細情報' (Detailed Information). In the '請求書情報' section, 'カスタム項目1' is set to '仕入先' and has a checked checkbox. In the '明細情報' section, 'カスタム項目1' is '科目' and 'カスタム項目2' is '工事', both with checked checkboxes. To the right of each checked item is a 'マスターデータを読み込む' (Import Master Data) button, circled with a 3. At the bottom right, there are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons, with '保存' circled with a 4.

- ① RICOH Cloud OCR for 請求書にログインし、左側のメニューから設定>カスタム項目設定を開きます。
- ② カスタム項目の項目名を入力し、利用のチェックをON(☑)にします。
仕入先は請求書情報(上)のカスタム項目、科目と工事は明細情報(下)のカスタム項目にします。
- ③ カスタム項目名の右側にある[マスターデータをインポート]より、対応するCSVファイルを読み込みます。
- ④ 全てのカスタム項目を設定し、[保存]で終了します。

2 準備2 CSV形式の登録

レッツ原価管理Go2のテキスト読込形式をRICOH Cloud OCR for 請求書に登録します。

本章に記載の操作はレッツ原価管理Go2とRICOH Cloud OCR for 請求書の連携を初めて行う時だけ必要です。



- ① RICOH Cloud OCR for 請求書にログインし、左側のメニューから設定>連携ソフト・出力設定を開きます。
- ② 汎用フォーマットCSV設定を、レッツ原価管理Go2のテキスト読込形式に合うようにカラム名と各カラムの引用元、固定値を設定します。

番号	カラム名	出力値の引用元	値
1	伝票番号	固定値	1
2	見積番号	固定値	
3	仕入日	請求日	
4	注文番号	固定値	
5	仕入先コード	仕入先	
6	仕入先名	固定値	
7	支払予定日	固定値	
8	仕入先部門コード	固定値	
9	仕入先部門名	固定値	
10	スタンプ1	固定値	
11	スタンプ2	固定値	
12	スタンプ3	固定値	
13	第2区分	固定値	
14	税計算	固定値	
15	消費税率	固定値	
16	税端数	固定値	
17	金額端数	固定値	

18	承認	固定値	
19	仮伝票	固定値	
20	非転記	固定値	
21	転記済	固定値	
22	税抜金額	請求額(税抜)	
23	消費税額	消費税合計	
24	合計金額	請求額合計	
25	支払複写済	固定値	
26	システム予約	固定値	
27	システム予約	固定値	
28	システム予約	固定値	
29	システム予約	固定値	
30	属性	固定値	0
31	入荷	固定値	
32	原価締	固定値	
33	科目コード	科目	
34	科目名	固定値	
35	商品コード	固定値	
36	商品	商品名	
37	仕様 摘要	備考	
38	単位	固定値	
39	数量	数量	
40	残	固定値	
41	単価	単価	
42	税区分	固定値	
43	金額	金額	
44	消費税	固定値	
45	明細工事コード	工事	
46	明細工事コード 枝番	固定値	00
47	明細工事名	固定値	
48	工種コード	固定値	
49	工種名	固定値	
50	部門コード	固定値	
51	部門名	固定値	
52	備考	固定値	
53	立替仕入先コード	固定値	

③ 右側の出力設定を以下のように設定します。

一行目に項目名を追加	ON
拡張子	CSV
日付形式	/
区切り文字	,
文字コード	SJIS
出力行単位	明細

一行目に項目名を追加

拡張子 | csv txt

日付形式 | 区切りなし / . -

区切り文字 | , <TAB>

文字コード | UTF-8 SJIS

出力行単位 | 明細 帳票

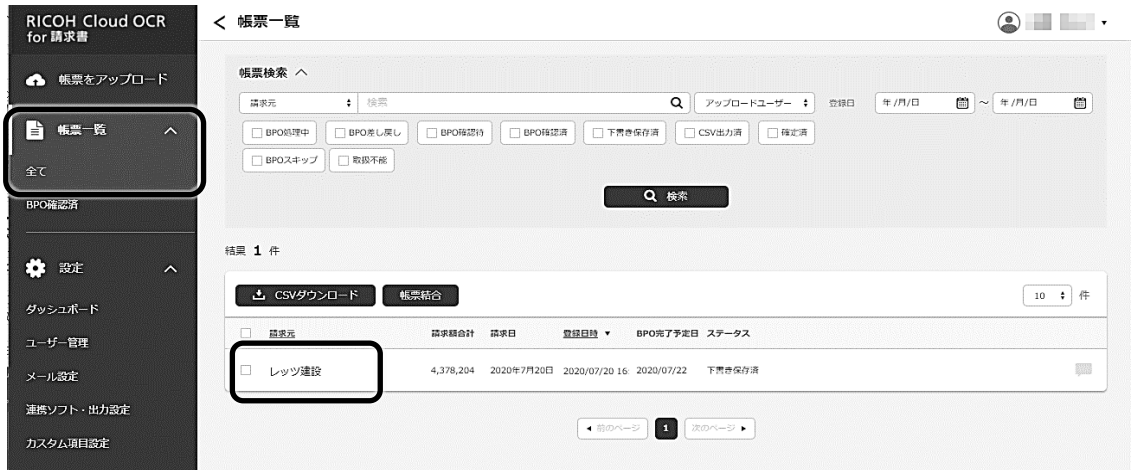
④ [保存]で終了します。

3 CSVデータ作成

RICOH Cloud OCR for 請求書を用いて、紙の請求書からレッツ原価管理Go2のテキスト読込用のCSVデータを作成します。

- ① RICOH Cloud OCR for 請求書に紙の請求書のデータを取り込みます。
取り込みの手順はRICOH Cloud OCR for 請求書のマニュアルでご確認ください。
- ② レッツ原価管理Go2で必要になるデータを補完します。

左側のメニューの帳票一覧から、取り込んだ請求書を開きます。



- ③ 請求書情報の「仕入先」、明細情報の「科目」「工事」を設定します。

注意 全ての明細行の科目、工事を設定してください。



右側の鉛筆マークをクリックするとマスタデータが表示されるので、該当するデータを選択します。



④ 全ての明細行にデータを設定し、画面下部の[確定]で終了します。

⑤ 帳票の確定が成功すると[確定]ボタンが[CSVダウンロード]が変わり、ここからCSVデータのダウンロードを行います。

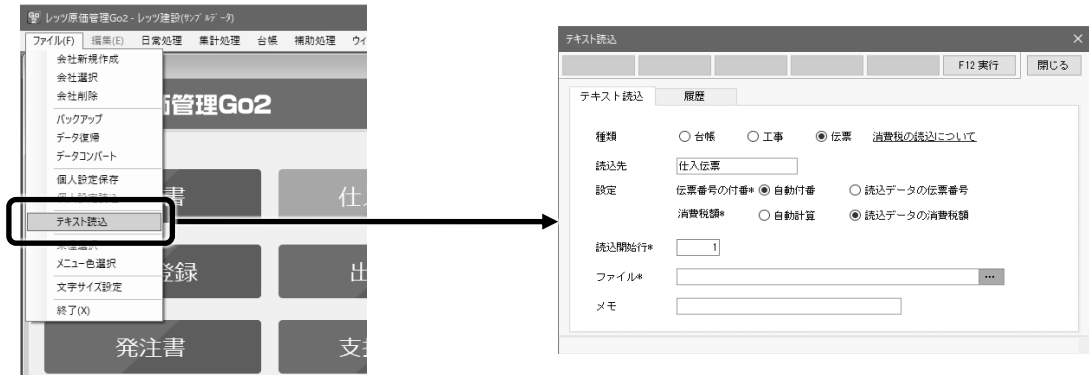


帳票一覧から、複数の帳票のCSVデータをまとめてダウンロードすることもできます。CSVダウンロードの詳細な手順は、RICOH Cloud OCR for 請求書のマニュアルでご確認ください。

4 レッツ原価管理Go2での読込

作成したCSVデータからレッツ原価管理Go2の仕入伝票を作成します。

RICOH Cloud OCR for 請求書で作成したCSVデータを、レッツ原価管理Go2のテキスト読込から仕入伝票として読み込みます。



種類	伝票
読込先	仕入伝票
設定	伝票番号の付番 = 自動付番 消費税額 = 読込データの消費税額
読込開始行	1
ファイル	(RICOH Cloud OCR for 請求書で作成したCSVデータを指定)

テキスト読込機能の詳細な手順はレッツ原価管理Go2のマニュアルでご確認ください。

LET'S